

NAISTライフマップ 2021【4月入学の場合】



*標準的なスケジュールのため、若干前後する場合があります。

入学者選抜試験	
博士後期課程入学者選抜試験	情報科学区分・バイオサイエンス区分・物質創成科学区分のいずれかの試験区分を受験します。
授業・ガイダンス等	
① TOEIC	・TOEICを受験することで、入学時の英語能力を把握し、修了時の英語能力の向上に目標を持って取り組みます。スコアは、英語授業のクラス編成にも利用されます。
② 研究者の素養を養う科目群の履修開始	・主指導教員による履修指導により、随時、履修していきます。 ・国際性、国際コミュニケーション能力を養う科目により、英語論文の作成法と高度な国際コミュニケーションの方法を学び、海外の研究室等でのインターンシップや国際的な会議に参加し、発表や討論を行います。
③ 教育プログラム選択	・主指導教員と相談して教育プログラムを決めていきます。

研究室配属・研究活動	
A. 自立的な研究能力を養う科目群の履修開始	・主指導教員による履修指導と研究指導が開始されます。 ・主指導教員による履修指導にもとづいて、随時、履修していきます。このうち、「先進ゼミナール」は通常、D3の11月までに論文の中間発表により認定されます(必修科目)。
B. 副指導教員決定	・副指導教員が決定されます。副指導教員は主指導教員とともに研究指導を行います。
C. 博士中間報告	・指導教員(主・副)が出席して実施されます。 ・博士論文作成に必要な指導が行われます。
学位の審査	
D. 学位論文審査願の提出	・博士論文の審査手続きを行います。 ・学位の名称(理学、工学、バイオサイエンス)は、学位論文の内容と選択した教育プログラムに基づき申請します。
E. 公聴会(予備審査)	・学位論文の審査委員が出席して実施されます。
F. 博士論文審査	・論文審査と試験が審査委員会により実施されます。 ・学位審査は学位論文審査基準に沿って行われます。

教育プログラムと授与される学位

情報理工学プログラム：博士(工学/理学)、情報生命科学プログラム：博士(工学/理学/バイオサイエンス)、バイオサイエンスプログラム：博士(バイオサイエンス)、バイオナノ理工学プログラム：博士(工学/理学/バイオサイエンス)
物質理工学プログラム：博士(工学/理学)、知能社会創成科学プログラム：博士(工学/理学)、データサイエンスプログラム：博士(工学/理学/バイオサイエンス)

※履修できる教育プログラムは研究室ごとに異なりますので、希望配属研究室を検討される際には、ご留意願います。(研究室と教育プログラムの関係：<https://www.naist.jp/facilities/labo.html>)